

水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター
「水の郷」
「水の郷くらぶ」
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200
FAX75-6210

■開館時間 午前9時～午後9時(温泉は、午前10時～午後8時30分で入場は午後8時まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時)
■4月の休館日 月曜日



4月の水の郷シネマ
ふたたび
SWINGME AGAIN
◆日時 9日(土)午前10時30分、午後1時30分、午後4時30分、午後7時30分の4回
◆料金 前売り800円、当日1000円 ※当日券は販売中止もあり。回数券は6枚で5000円。1年間使えます。前売り券、回数券の払い戻し不可。

柳川温泉「南風」とトレーニングルームを紹介 いい汗かいて心も体もリフレッシュ

水の郷には、天然温泉の柳川温泉「南風」とトレーニングルームがあります。南風は大浴場や露天風呂、家族湯、サウナ、大広間などがあります。また、トレーニングルームの「すこやかルーム」は専門のインストラクターがみなさんの運動をサポート。ゴムチューブを使ったトレーニングマシンやウオーキングマシンなどの運動機器のほか、インストラクター指導による体操教室も開催。水の郷でいい汗をかきませんか。



◆料金 ▷温泉入場料＝一般(中学生以上)400円、65歳以上の高齢者・障害者350円、4歳以上小学生以下200円、3歳以下無料(家族湯は入場料と別途利用料500円必要)▷すこやかルーム＝2時間300円、1時間200円

～柳川温泉「南風」イベント～

日本舞踊「流しびなまつり」

◆日時 4月3日(日)、午後1時～

◆料金 観覧無料(入場料必要)

水の郷 ホール

4月の主な催し

◆柳川文化協会「カラオケ部 水郷発表会」3日(日)、午前9時30分～、入場無料

【問】亀崎さん(☎72・3211)

◆第34回福岡県消防職員意見発表会 8日(金)、午後1時～、入場無料

【問】市消防本部総務課総務係(☎74・0119)

◆山茶花の会 ピアノ発表会 10日

(日)、午後1時～、入場無料

【問】同会金見さん(☎72・7805)

◆平成23年度家庭倫理講演会「じっと見つめる」17日(日)、午前10時～、入場料1000円

【問】家庭倫理の会柳川市目野さん(☎090・3070・1150)

◆愛唱カラオケ発表会「歌を愛する仲間たちのふれあい」24日(日)、午前9時30分～、入場無料

【問】愛唱カラオケ(☎74・2099)

4月30日は春のおはなし会を開催 楽しい本がみんなを待ってるよ



4月23日の「こども読書の日」にちなんで、春のおはなし会を開催します。

◆日時 4月30日(土)、0～2歳児向けは午後2時～、幼児・小学生向けは午後2時30分～、入場無料

◆会場 本館児童コーナーおはなしのへや

～図書館からのお知らせ～

本館のAV(視聴覚)コーナー出入口に設置していたゲートを、本館出入口に移動しました。

おはなし会(小学生以下)

▶本館＝毎週土曜、午後2時30分～▶三橋図書館＝第2・4土曜、午後3時～▶雲龍図書館＝第2土曜、午前10時30分～▶昭代分館＝第1・3土曜、午前11時～▶両開分館＝第2土曜、午後2時30分～▶蒲池分館＝第2・4土曜、午前11時～

4月の無料映画会

4月9日(土)、午前11時～＝名画劇場「GOEMON」(128分)、午後3時～＝子ども映画「につぼん全国 れっしや大集合」(120分)

図書館 ニュース

▷本館☎74-4111 FAX74-4946 ▷三橋図書館☎74-6300 ▷雲龍図書館☎76-1122 ▷両開分館☎74-4116 ▷昭代分館☎74-5111 ▷蒲池分館☎74-6200 ▷水の郷分室☎75-6204

■開館時間 午前10時～午後6時(金曜日は本館、三橋図書館、雲龍図書館とも午後8時まで)

■4月の休館日 月曜日(三橋図書館は火曜日)※28日(木)は資料整理のため全館休館。29日(金)は両開・昭代・蒲池分館が休館。

おすすめ新着図書

ゆかいにひろがることば絵本 五味 太郎 作・絵(ひさかたチャイルド)



「おおきい ちいさい」「きれい きたない」「やさしい むずかしい」などそれぞれ反対の形容詞を使って、絵で比べながら言葉の奥深さを教えてくれます。大人も思わず納得の「ことば絵本」です。

親が死ぬまでに聞いておきたい45のこと 米山 公啓 著(中経出版)



避けて通れない親の「死」。親の歩んできた歴史や先祖のこと、親せきや友人関係、財産、介護、葬式など、「聞いておけばよかった」とあとで後悔しないための指南書です。

柳井正 未来の歩き方

大塚 英樹 著(講談社)

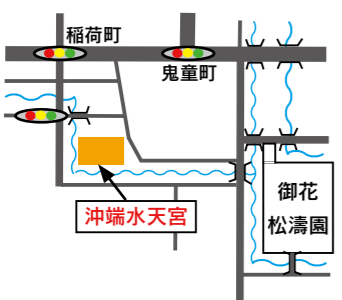


カジュアルブランド「ユニクロ」の代表者、柳井正氏を普通の青年から世界の頂を狙う経営者へと変えたものとは…。平凡な日常を変えたいと願うすべての人に贈るメッセージが込められた1冊。

「柳川百選」は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課(☎77・8423)へ。



▲沖端水天宮祭期間中は露店が出店し、夜も多くの人でにぎわう



していたことに端を発します。明治2年に水天宮として合祀されてからは、6隻の船をつないだ舟舞台となり、3つの神社にちなみ「三神丸」と名付けられました。

その舟舞台で奏でられる楽器は、太鼓、締太鼓、横笛に三味線が使われ、主に矢留小学校校区の児童が演奏します。演奏される曲は「上り」「下り」「留り」の三楽章から構成され、「上り」は水天宮横から沖端橋まで上る時に演奏する勇壮活発な曲。「下り」は水天宮まで流れに沿って下る時に演奏する曲で、ゆるやかな水の流れるようにもっとも華やかながらも変化に富んでいます。船が止まる最後に演奏する「留り」は、落ち着いた中に静けさと美しさをそなえた曲となっています。舟舞台保存会青年部顧問で宗信町区長の大橋三俊さんは「舟舞台囃子は以前、夜のみ演奏していましたが、今は祭りの2日目から昼も演奏するようになりました。昼から夜まで一日中祭りを楽しんでほしいですね」と語りました。



▲社務所で行われている舟舞台囃子の練習風景



▲昨年の御神幸行列の様子。祭り初日の5月3日に町内をねり歩く

沖端水天宮祭の期間中は、掘割に舟舞台を浮かべ、別名「オランダ囃子」ともいわれる水天宮囃子や芝居が奉納されます。この祭りの発祥は、江戸時代の文化年間(1804年～1818年)に祇園社の祭礼日である6月12日に、町内から小舟3隻を出し、1隻に神輿を、ほかの2隻にお囃子を乗せて、お宮から立花家の屋敷だった御花まで行ったり来たり



柳川百選まち歩き 第25回
市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募し、「柳川百選」を選んでいきます。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しましょう。

沖端水天宮祭 (舟舞台囃子)

ふなぶたいばやし